

③戦国時代の幕開けから天下統一布石の地へ

◆時代：戦国時代・安土桃山時代（中世末期）

◆ストーリー：戦国時代を通じて後北条氏の拠点となる。豊臣秀吉の天下統一の布石の地にもなった。

- この関連文化財群は、伊勢宗瑞（北条早雲）の堀越御所攻めから始まる伊豆平定、韮山城築城により、その後の戦国時代を通じて、後北条氏の東国支配の拠点であったことを伝える様々な歴史文化資源、豊臣秀吉のとよとみひでよし小田原攻めに伴うにらやまじょう韮山城の攻防などに関連する文化財で構成される。
- 伊勢宗瑞は堀越御所を襲撃し、伊豆支配の第一歩とした。その後築城されたにらやまじょう韮山城は、戦国時代を通じて後北条氏による伊豆支配、東国支配の拠点となり、この時代の中心をなす歴史文化資源である。にらやまじょう韮山城跡は、本城とそれらを取り囲む遺構群を含む94万㎡の広大な城郭であり、土塁や堀など当時の遺構が良好に残っている。低地部分では、発掘調査により堀や屋敷跡・道路跡・庭園跡などの存在が判明している。
- 戦国時代になって国清寺は前代より衰えたものの、職人集団がなごや奈古谷地区に残り、にらやまじょう韮山城を支える役割を果たしたとされる。
- こうざんじ香山寺は伊勢宗瑞が再興したという伝承もあり、境内にろくじぞうせきどう六地藏石幢やせきとうざんけつ石塔残欠が残る。また、ほんりゅうじ本立寺はひでもり えいしょう江川家24代英盛が永正3年（1506）にだいじょうあん邸内の大乗庵を移して建立したと伝えられる。
- にらやまじょう韮山城東側のきんこ金谷・やまの山木の集落は、にらやまじょう韮山城の内宿（城下町）であった可能性が指摘されている。また、したの下田街道は戦国時代にも交通・流通の動脈であり、よひの四日町には市があって賑わい、後北条氏の蔵が建てられていた。
- 天正18年（1590）のにらやまじょう韮山城の攻防を物語る遺跡として、豊臣秀吉軍が築いた付城が残っている。現在、にらやまじょう韮山城東側の丘陵部には、たいこうじんば太閤陣場付城跡・おんこしやま本立寺付城跡・かみやまだ追越山付城跡・しやう上山田付城跡・けいいん昌溪院付城跡の5つの付城跡、西側の低地部にはきどいなり木戸稻荷付城跡があり、計6ヶ所の付城跡が埋蔵文化財包蔵地に登録されている。戦国時代末期の城をめぐる攻防の実態をうかがい知ることのできる歴史遺産である。

表11 「戦国時代の幕開けから天下統一布石の地へ」を構成する主な歴史文化資源

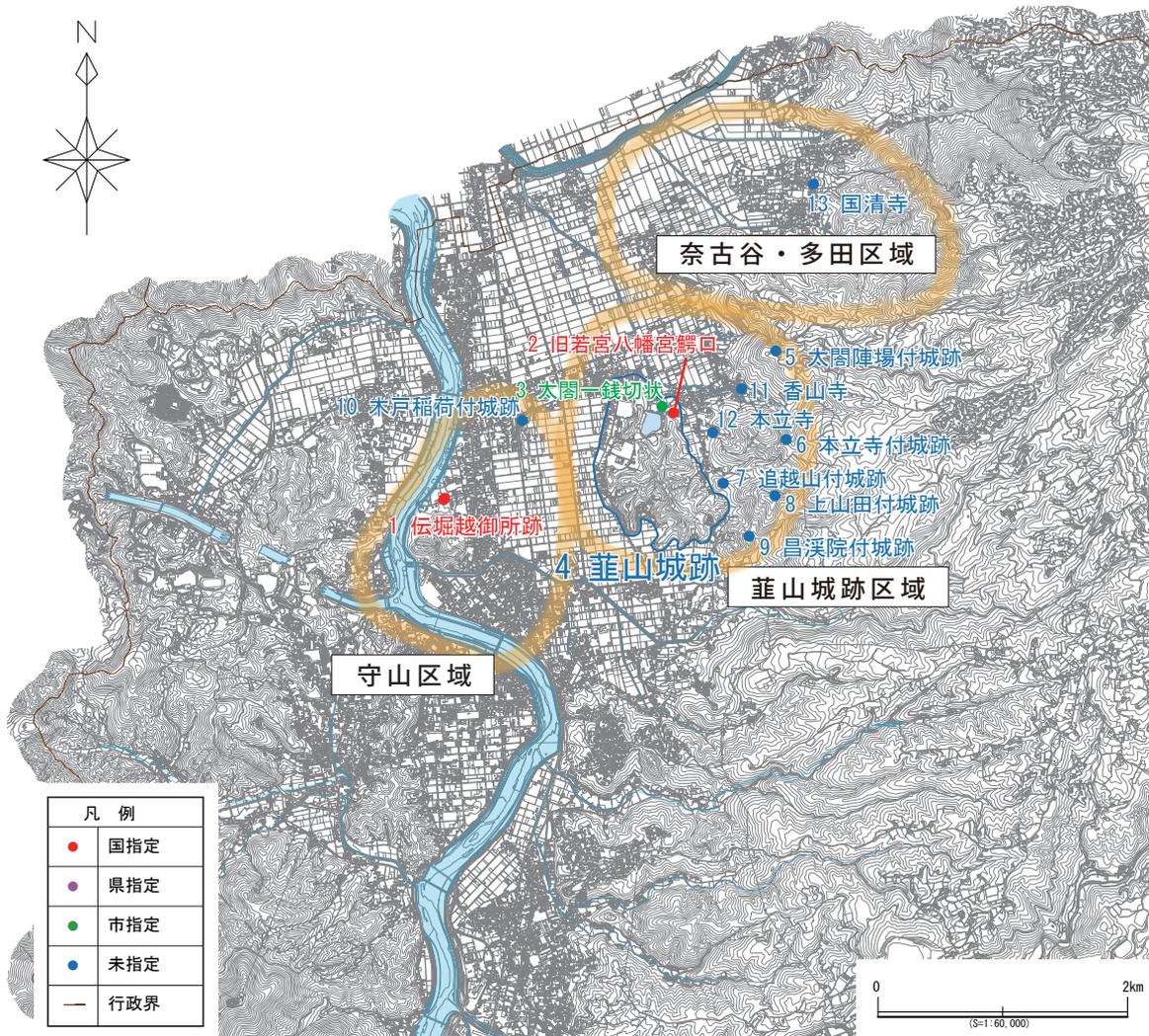
番号	種類	名称	公開の可否	所有者（管理者）	所在地
1	国指定 史跡	伝堀越御所跡	公開	伊豆の国市 他	寺家・四日町
2	国指定 重要文化財	旧若宮八幡宮鰐口 (韮山代官江川家関係資料の内)	非公開	(公財)江川文庫	韮山韮山
3	市指定 有形文化財	太閤一銭切状	非公開	伊豆の国市	韮山韮山
4	未指定 (城館跡)	韮山城跡	公開	—	韮山韮山
5	未指定 (城館跡)	太閤陣場付城跡	公開	—	韮山山木
6	未指定 (城館跡)	本立寺付城跡	公開	—	韮山山木
7	未指定 (城館跡)	追越山付城跡	公開	—	韮山金谷
8	未指定 (城館跡)	上山田付城跡	公開	—	韮山金谷
9	未指定 (城館跡)	昌溪院付城跡	公開	—	南条
10	未指定 (城館跡)	木戸稻荷付城跡	公開	—	四日町
11	未指定 (寺院)	香山寺	公開	香山寺	韮山山木
12	未指定 (寺院)	本立寺	公開	本立寺	韮山金谷
13	未指定 (寺院)	国清寺	公開	国清寺	奈古谷



写真 10 伝堀越御所跡



写真 11 葦山城跡



第 14 図 「戦国時代の幕開けから天下統一布石の地へ」の関連文化財群の分布